

おおたま

2020

No. 117

令和2年5月発行



3月定例会開催

令和2年度当初予算 一般会計総額42億9,273万円 … P 2～3
予算審査特別委員会の審査と意見 …………… P 4～7
条例・補正予算など …………… P 8～10
ここが聞きたい 7人の議員が登壇 …………… P 11～17
目指せ!! 健康長寿日本一おおたま …………… P 18

一般質問

など子育て支援の充実

前年度比2.4%減↓

一般会計

42億9,273万円

3月定例会開催

3月定例会は、3日から16日までの14日間の会期で開かれました。内容は、村長提出案件29件（条例改正10件、補正予算8件、令和2年度一般会計等当初予算8件、工事請負変更契約案件1件、村道路線廃止案件1件、人事案件1件）が提出され、審議した結果、原案どおり可決しました。

商工費 7,451万円

- 夏まつり実行委員会補助 550万円
- アットホームおおたま
指定管理業務委託 800万円

土木費 4億2,337万円

- 道路等側溝堆積物撤去 1億2,048万円
- 都市計画マスタープラン
更新等業務委託 550万円

消防費 1億9,616万円

- 第6分団1方部
消防屯所建築工事 3,625万円

教育費 5億2,363万円

- 学校給食費補助 981万円
- 文化財保護経費 699万円

災害復旧費 3,540万円

- 河川・道路災害復旧工事 3,500万円

公債費 4億4,394万円

総務費 8億3,065万円

- 第5次総合振興計画策定業務委託 600万円
- デマンドタクシー運行 703万円
- 合併65周年記念事業 150万円
- 放射線量低減化 1億4,863万円

民生費 10億3,782万円

- 老人健康管理事業 426万円
- 在宅子育て応援奨励金 300万円
- 子どもの医療費助成 5,919万円
- ひとり親家庭等医療費助成 216万円

衛生費 2億6,742万円

- 元気づくりシステム
コーディネーター支援業務委託 539万円
- 妊産婦健康管理 936万円
- 生活用水確保事業補助 50万円

農林水産業費 3億4,980万円

- 米の食味等分析委託 160万円
- 農業機械共同利用整備補助 2,055万円
- 農業水利施設耐震性調査 3,000万円
- 有害鳥獣防護柵設置補助 150万円

新年度当初予算

学校給食費の補助

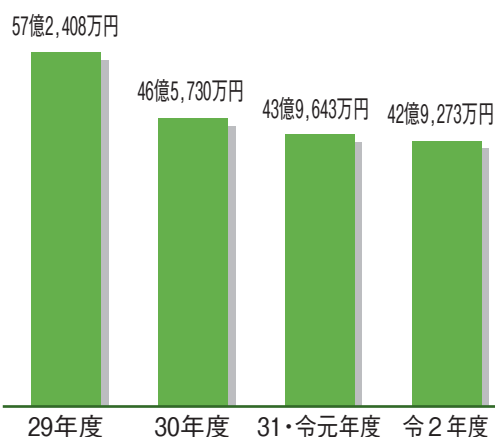
最重点施策

1. 持続可能な農業を推進するための支援
2. 公共交通システムの検討
3. 安心して産み育てる村づくり
4. 第五次大玉村総合振興計画の策定
5. 健康長寿の村づくり

令和2年度 予算額

会 計 名		予 算 額	対前年度比
一般会計		42億9,273万円	2.4%減
国民健康保険特別会計		8億9,169万円	0.9%減
玉井財産区特別会計		506万円	16.5%減
農業集落排水事業特別会計		1億2,434万円	6.2%増
土地取得特別会計		442万円	83.4%減
介護保険 特別会計	(保険事業勘定)	7億5,297万円	1.3%増
	(介護サービス事業勘定)	26万円	80.0%減
後期高齢者医療特別会計		7,253万円	11.1%増
水道事業 会 計	(収益の支出)	1億6,524万円	2.3%増
	(資本的支出)	1億3,068万円	9.7%減

一般会計予算の推移



次ページからは分科会での質疑と予算審査特別委員会の審査意見を紹介します。

3/16

本会議

- ・ 議案審議
- ・ 予算審査特別委員会の審査結果報告

3/13

予算審査
特別委員会

- ・ 分科会の審査報告
- ・ 予算審査特別委員会の審査結果を集約

3/10~

総務文教分科会
産業厚生分科会

- ・ 予算審査

3/9

予算審査
特別委員会

- ・ 総務文教分科会・産業厚生分科会の2分科会を設置

3/3

本会議

- ・ 議案の一括上程
- ・ 提案理由の説明

当初予算は、次のように議会で審議します。

当初予算が
決まるまで!!

新年度予算を問う

分科会質疑

ピックアップ

分科会では、村政全般にわたり多くの質疑がありました。その中から、いくつか紹介します。

総務文教分科会



(3月10日)

公共交通システム

政策推進課

問 広域バスおよび福祉バスの利用が減少する一方で、デマンドタクシーの利用は増加している。今後の公共交通システムのあり方は。

答 デマンドタクシーの台数を増やす方向で、関係機関と十分協議しながら進めていきたい。

第五次大玉村総合振興計画 ※

問 計画策定までの流れは。また若い世代の意見の反映はどのように行うのか。

答 住民アンケートの結果や検討委員会での意見や提言をもとに、コンサルタントに委託し素案を作成する。その後、庁内で精査して審議会にかけ策定する。アンケートでパブリックコメント等を通して、若い方の意見を聴いていきたい。

※第五次大玉村総合振興計画

村の最上位計画であり、令和3年度から10年間の村づくりの基本的方向と具体的施策を定めるもの。

日本で最も美しい村連合

問 昨年、日本で最も美しい村連合の再審査があったが、その評価と今後の課題は。

答 小学生への民俗芸能の継承など、全体的に取り組み意識が高いとの評価を得た。大規模開発もなく景観が保たれており、今の状態を継続して維持していくことが大切だと考えている。



十二神楽民俗芸能の継承（大山小）

税務課

税金滞納者の追跡調査

問 サービサー（※1）への委託状況と今後の取り組みは。

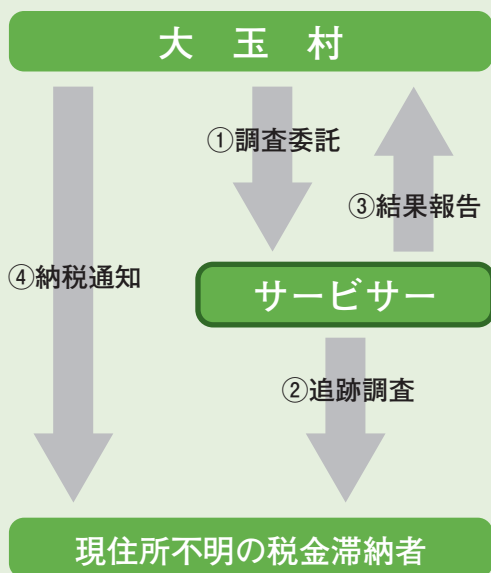
答 昨年は10件依頼し、居住が確認されたのは6件で4件は再引越していた。今後もサービサーに調査を依頼し、不納欠損（※2）とならないよう税収の確保に努める。

※1 サービサー

法律に基づく民間の債権回収会社。税金滞納者が転出した場合、追跡調査や実態調査、税金の回収を代行して行う。なお、大玉村では回収業務は委託していない。

※2 不納欠損

さまざまな事情により、税金などが徴収できなくなったもの。



学校給食費補助

問 補助の内容は。

答 給食費は食材料のみ負担していただいている。県内32市町村で補助が行われており、本村でも子育て支援の一環として村民税非課税世帯は全額、その他の世帯は一律20%を補助する。



学校ICT推進

問 統合型校務支援システム※を小中学校に導入する目的は。

答 教職員の多忙化解消とともに、子どもたちの指導をより充実していくためである。

※統合型校務支援システム

成績表や健康診断票などが統合されたシステム。福島県では2020年4月から全ての県立学校で導入される。市町村立学校での導入は各自自治体が判断する。

スクールサポートスタッフ

問 スクールサポートスタッフの配置や資格、業務内容は。

答 小中学校に配置し、配布物の印刷や教職員の事務的なサポートなどを行い、教職員の負担を軽減することで学校力の向上を図る。資格要件はない。県の事業であるが村独自で人員の確保に努める。

おおたまコミュニティ広場

問 コミュニティ広場(教育フォーラム)では、小中学生が大玉村の魅力や未来について発表し、子どもたち、保護者、地域の方、教職員が意見を交わした。子どもたちによる発想豊かな村づくりの提案などを広報紙等で広く住民に周知するべきではないか。

答 ホームページでの周知は考えていたが、広報紙も含め効果的な周知方法を検討していきたい。



第1回おおたまコミュニティ広場(2月1日)

共に学ぶ「おおたま未来塾」

「おおたまっ子学び舎塾」

問 学習サポーターとは。

答 中学3年生を対象として実施している「共に学ぶ『おおたま未来塾』」の大学生などの講師や、小学校5、6年生を対象とした「おおたまっ子学び舎塾」でのボランティアの方である。今年度も「共に学ぶ『おおたま未来塾』」や「おおたまっ子学び舎塾」で学習支援を予定している。



共に学ぶ『おおたま未来塾』(8月)

産業厚生分科会



(3月10日)

住民生活課

国民健康保険税

問

令和2年度の国民健康保険税額は上がるのか。また、国民健康保険財政調整基金の運営状況や保険税の県内統一化の見通しは。

答

被保険者数が減少すると一人当たりの保険税は上がってしまう傾向にある。基金残高は令和元年度末で約8400万円であり、令和2年度は基金から2000万円を充てる予定である。令和5年度以降に保険税県内統一化の検討に入る計画である。

健康福祉課

元気づくりシステム※

問

団体ごとに週2回活動するのは、参加者やコーディネーターの負担にならないか。

答

元気づくりシステムは週2回の活動が委託契約の内容である。参加者自身の意思で参加するもので強制ではない。コーディネーターは2名の職員が分担で行うので、負担にはならない。

※元気づくりシステム

週2回、身近な集会場等でコーディネーターの指導のもと、軽い運動や筋力トレーニングを行うことにより、心身の健康と介護予防につなげる活動・システム。

再生復興課

汚染土壌仮置場

問

原状回復の考え方は。

答

造成前の原状回復が基本だが、地権者の意見を踏まえながら国・県と協議を行い、住民目線での原状回復に取り組んでいきたい。

蓄電池補助

問

蓄電池補助の内容は。新規の太陽光パネルとの併用補助申請は可能か。

答

太陽光発電の固定価格買取制度の10年を満了した方に対する補助であり、売電を行う新規の太陽光パネル設置と蓄電池の併用補助申請はできない。なお、新規で売電を行わない太陽光パネル設置であれば、蓄電池の補助申請ができる。



普及しつつある家庭用蓄電池



老人クラブ連合会での元気づくり活動

中山間地域等直接支払制度※

問 中山間地域等直接支払制度の今後の取り組みは。

答 各組織の独立性を保ったまま、協議会として広域化していきたい。事務局を集約することで事務の軽減を図っていく。

※中山間地域等直接支払制度

農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続するため、国や自治体が支援を行う制度。

米の抽出検査

問 抽出検査へ移行するが、全袋検査を個人で行うことは可能か。

答 個人ではできない。県の方針なので、単独で検査しても東京電力に賠償義務は生じない。



これまで行われてきた全量全袋検査

有害鳥獣被害対策

問 地域的な電気牧柵等の設置補助は。

答 令和2年度より農地以外への設置も補助対象となる。また、ワイヤーメッシュの柵なども補助内容に加えた。地域の方が連名で補助を申請した場合も、対応できるようにしていきたい。



農地以外に設置する際も補助対象となる電気牧柵

土地改良区運営

問 土地改良区の運営および村との関係は。

答 土地改良法の改正により、土地改良区は幹線水路や堰などの土地と工作物を、村は幹線水路以外の田畑の周辺にある水路を管理していく。今後の維持管理にあたっては、多面的機能支払交付金事業※の広域化等により、対応していきたい。

※多面的機能支払交付金事業

水田や水路・ため池などの農業を支える共用設備が、洪水抑止機能を代表とする多面的な機能を有することから、共用設備を維持管理する地域共同活動に支払われる交付金事業。



土地改良区が管理する長井坂円形分水

当初予算総括質疑

バックアップ

日本で最も美しい村連合負担金

77万2千円

年々増えている理由は、

これまで加盟市町村の職員が派遣されていたが、本部常駐の正規職員採用により、負担金が増えた。

問

答

合併65周年記念事業

150万円

なぜ65周年で開催するのか。必要性は、

これまで10年刻みで式典など大規模に行ってきたが、今後は5年刻みでも、村民の皆さんを対象にした小規模な式典やアトラクションなどを行っていききたい。

問

答

老人クラブ活動事業補助金

119万3千円

補助金を増やす予定はあるのか。

当初予算段階で単位老人クラブの会員一人当たり100円を増額して計上している。

問

答

農業水利施設ハザードマップ作成

385万円

農業水利施設ハザードマップとは何か。

ため池のハザードマップである。大雨や地震などによりため池が決壊した際の浸水範囲が分かり、防災対策に役立つものである。

問

答

予算審査特別委員会の審査意見

予算審査特別委員会の当初予算に対する審査意見は次のとおりです。



総務部

- ① デマンドタクシーにおいて、交通弱者の利用が増える一方、依然として台数が増えないことや行き先が限定されるなど使い勝手が良くないことから、改善策を検討すること。
- ② 第5次総合振興計画策定にあたり、審議会に若年層の委員の登用が図られるよう考慮すること。

教育部

- ③ 日本で最も美しい村連合に関連し、本蒔田植え踊りや神原田神社十二神楽の小学生への継承事業の取組みは大変重要なものと認識している。関係部署と連携しながら、将来にわたり継続すること。

住民福祉部

- ① おおたまコミュニティ広場等に関し、発想豊かな子どもたちの村づくりの提案や開催結果など広く村民の方々に周知が図られるよう工夫すること。
- ② 地域おこし協力隊において、令和2年度は任期の最終年度であることから、活動内容を広く村民に周知し、理解が図られるよう努力すること。
- ① 健康長寿の村づくりのために各種健康事業の推進、特に元気づくりシステム等について、地域の実情に合った取り組みと指導者の育成に努めること。
- ② 除染事業及び悪臭防止対策事業において、住民が安全で安心して暮らせる環境整備を進めること。

産業建設部

- ① 中山間地域等直接支払交付金事業及び多面的機能支払交付金事業の広域化に向け、関係機関と協議を深めながら取り組むこと。
- ② 米の抽出検査への移行及び水稻卒力りによる生産者の不安払拭に向けたさまざまな農業支援を行うこと。

3月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	大玉村区長等設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第2号	大玉村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第3号	大玉村職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第4号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第5号	大玉村帰還環境整備交付金基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	大玉村社会教育指導員設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	大玉村地域包括支援センター設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	大玉村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	大玉村特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	大玉村村営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	令和元年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第12号	令和元年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第13号	令和元年度大玉村玉井財産区特別会計補正予算について	原案可決
議案第14号	令和元年度大玉村農業集落排水事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第15号	令和元年度大玉村土地取得特別会計補正予算について	原案可決
議案第16号	令和元年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第17号	令和元年度大玉村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第18号	令和元年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第19号	令和2年度大玉村一般会計予算について	原案可決
議案第20号	令和2年度大玉村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第21号	令和2年度大玉村玉井財産区特別会計予算について	原案可決
議案第22号	令和2年度大玉村農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第23号	令和2年度大玉村土地取得特別会計予算について	原案可決
議案第24号	令和2年度大玉村介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第25号	令和2年度大玉村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第26号	令和2年度大玉村水道事業会計予算について	原案可決
議案第27号	令和元年度応急仮設住宅撤去工事（安達太良Ⅱ期）請負変更契約について	原案可決
議案第28号	村道路線の廃止について	原案可決
議案第29号	区長等の委嘱について	同 意

条例・補正予算など可決

条例

地域包括支援センター設置条例の一部改正

地域包括支援センターについて、管理運営の全部または一部を社会福祉法人等に委託することができるようにした。

印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

これまで成年被後見人は、印鑑証明が必要となった場合、後見人の印鑑証明書をもって代替できるところから登録ができなかった。改正により、成年被後見人に法定代理人が同伴した場合に限り、意思能力を有する者として成年被後見人の印鑑登録が可能となる。

議会が注目する予算

土木施設災害復旧事業

繰越明許額 7496万円

問

台風19号により通行不可となっている大作田1号線の完全復旧はいつになるか。

答

早ければ令和2年度に国の災害査定を受け、その後、工事に入る計画である。地すべりの範囲や工法にもよるが、着工から3～4年がかかる見通しである。

令和元年度 3月補正予算

会 計 名		補 正 額	総 額
一般会計		△ 1億8,433万円	55億3,035万円
国民健康保険特別会計		3,798万円	10億1,477万円
玉井財産区特別会計		—	1,092万円
農業集落排水事業特別会計		△ 492万円	1億1,737万円
土地取得特別会計		578万円	3,241万円
介護保険特別会計	【保険事業勘定】	△ 68万円	7億7,297万円
	【介護サービス事業勘定】	14万円	183万円
後期高齢者医療特別会計		248万円	6,874万円
水道事業会計【収益的支出】		—	1億6,145万円

※玉井財産区特別会計、水道事業会計【収益的支出】は、歳入歳出予算額を調整し、予算総額を変更しない補正である。

人事案件

区長・副区長の委嘱の同意

4月からの新たな区長・副区長の委嘱について同意した。任期は令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間。



3月定例会では、3月5日に5人、6日に2人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に11ページから17ページです。

わたなべ けいこ 渡邊 啓子	1. 除染の実績と今後の取り組みは 2. 地域づくりの拠点整備を求む	11ページ
おしやま よしのり 押山 義則	1. 第五次大玉村総合振興計画策定に向けて 2. 令和2年度村政基本方針を聞く！	12ページ
たけだ えつこ 武田 悦子	1. スマホ社会と子どもたち 2. 検診の充実が健康寿命を伸ばす	13ページ
すずき やすひろ 鈴木 康広	1. 社会福祉の充実を願う	14ページ
すどう ぐんぞう 須藤 軍蔵	1. 村の図書充実と整備を願う 2. 採石場跡地および産業廃棄物の現状は	15ページ
さわら さゆり 佐原佐百合	1. 大玉村の魅力をさらに発信するには 2. SDGs推進の村づくりのために	16ページ
きくち あつり 菊地 厚徳	1. 種子法廃止の影響は	17ページ

※一般質問…議員が村の行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたずること。大玉村議会の一般質問は、一人30分以内で答弁時間は含まない。

一般質問

ここが聞きたい！
7人の議員が登壇



除染の実績と今後の取り組みは

質問趣旨

原発事故以降行ってきた除染の取り組みを検証し、全体像を把握することで、住民に安全安心を理解してもらう。

渡邊 現在までの除染の取り組み実績を具体的に伺う。

再生復興課長 住宅除染は2155戸、道路除染は延長123・4キロメートル、ため池はモニタリングを実施し、7池の除染を行った。生活圏森林は住宅除染に含めて実施した。公共施設は150カ所の除染を実施した。国道は2・9キロメートル、県道は10・9キロメートルの除染を実施した。農業用水利施設は300カ所を実施した。

産業課長 農地除染では、水田が98・8ヘクタール、畑が42・4ヘクタール、樹園地が8・9ヘクタール、牧草地が263・95ヘクタールの事業を完了している。ふくしま森林再生事業は継続中であり、平成31年度までに42・65ヘクタールで間伐・除染を行った。

建設課長 令和元年度は、大山区の道路側溝約8・7キロメートルで土砂撤去処理を行った。



中間貯蔵施設へ運搬される第2仮置場の除染土壌
(写真は3月1日現在の状況)

渡邊 今後の除染の取り組みを伺う。また、国が2020年度から里山除染を行うと発表した

が、本村で対象となる箇所はあるか。ふれあい村民の森は対象となるのか伺う。

住民福祉部長 仮置場にある土のう袋の運搬作業終了後、仮置場の返地工事、返還手続きを進める。被曝線量が年間1ミリシーベルト以上となる里山除染の対象箇所は今のところはない。ふれあい村民の森は19カ所の線量を測定したが、数値が低く対象にはなっていない。

渡邊 移住者と既存の住民とのコミュニティづくりを目的として、ふれあいセンターの建設を求める声がある。公園を併設すれば子育て支援や健康づくりに役立つかどうか。考えを伺う。

総務部長 老朽化が進む大山公民館の建て替えや子育て支援センターの建設、南部ふれあいセンターの構想がある。交付金事業や国庫事業などの財政措置を見極め、村の財政状況を考慮しながら検討したい。現在は農村環境改善センターなどの既存施設を利用していただきたい。

渡邊 移住者が増えた地区では人とのつながりが希薄である。災害時などは地域コミュニティの力が重要である。村長の見解を伺う。

地域づくりの拠点整備を求む

質問趣旨

中学校周辺には移住者が増えた。既存の住民との地域コミュニティづくりには拠点となる場所が必要だ。

村長 地域コミュニティが大切な時代に入っている。村としては、ひとり暮らしの方の見守りができるように、地域防災組織をつくっていた

けるようお願いしている。施設は、意見をもとに検討していきたい。



地域コミュニティの和が広がるサロン

他に次の質問がありました。

・民法改正後の村の成人式はどう変わるか

第五次大玉村総合振興計画策定に向けて

質問趣旨

第四次大玉村総合振興計画、後期基本計画を検証し、併せて、第五次大玉村総合振興計画※に向けての方向性を問う。



令和2年度までの第四次大玉村総合振興計画

村長 国道4号線沿線
 大玉村の農業を支える要として農業振興公社を設立する趣旨や方向性は、また主体はどこに求めるのか。

村長 農業振興公社は、耕作放棄地解消等への対応に加え、農業法人や個人農業者がすぐに取り組めないような新しい分野や新しい品種の作付けなど、先駆的役割を果たすことも期待している。現在、内部で設立可能か検討を進めているが、設立する際は村が主体となる。

村長 大玉村の農業を支える要として農業振興公社を設立する趣旨や方向性は、また主体はどこに求めるのか。

質問趣旨
 施政方針で示された重点施策の内容と展開について、明らかにする。

令和2年度 村政基本方針を聞く！

村長 東北道スマートインターの実現により、国道4号線沿線の活性化、産業振興センターの発展などに結びつく施策展開が望める。観光面から早期実現を期待するが、今後の道筋は。

村長 役場と社協は住民福祉に関しては一休という考えのもと、補完しながら事業を進め、基盤をしっかりと作りたい。

村長 4月から包括支援センターが社協に委託される。受け皿としての社協の強化は喫緊の課題となるが、行政の中で社協の位置づけを伺う。

副村長 公立に比べ民間保育所は国の補助制度などの利点がある。財政支出の削減、保育士などの処遇改善、保護者の意見などを検討し、保育環境の充実を図っていく。



活性化が望まれる国道4号線沿線

押し
 やま
 義
 よし
 則
 のり
 議員



村長 村政を引き継いでからの6年半で、子育て支援、住宅政策など前村長から引き継いだ事業に加え、幼稚園の3年保育、原発事故を踏まえての屋内運動場建設や学校のエアコン設置、アットホームの改修など、国の施策を活用し、村の基盤をしっかりと作れたと感じている。今後の人口推移をみながら、箱モノについては国の施策を見据えて有利なものがあれば進めていく方針とし、ソフト面での政策充実を考えていきたい。

※第五次大玉村総合振興計画
 P4参照



スマホ社会と子どもたち

質問趣旨

スマホなどの情報ツールが発達していく中で、子どもたちはどのように関わるべきか伺う。

【武田】

スマホやタブレットなどで、どこにいてもさまざまな情報が入手できる時代であり、子どもたちにも利用が急速に広がっている。スマホやタブレットが子どもたちの体や心を与える影響は大きいと思う。大玉村の子どもたちはどのくらい利用しているのか伺う。

【教育部長】

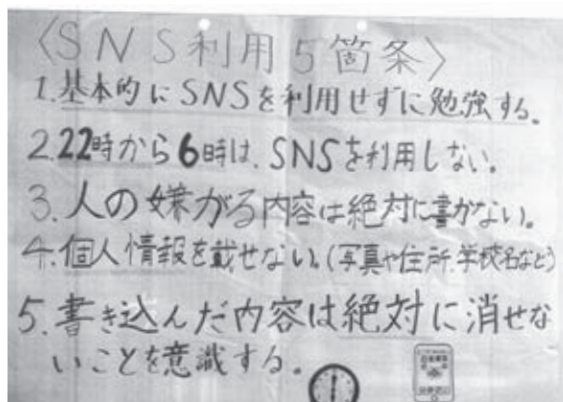
小学生では、使用していない児童が34・8%、1時間未満の使用が59・9%、ルールを決めて使用している児童が71・9%である。中学生では、平日の利用時間が1時間以上から2時間未満が43・4%、ルールを決めて使用している生徒が57・4%である。

【武田】

子どもたちがスマホへの理解を深めるとともに、使い方を考えていくことが重要だと思う。学校での取り組みを伺う。

【教育長】

中学校では生徒会がSNSスローガンを作り、利用5箇条を自分たちで決め、自分たちで守ろうという活動が行われている。子どもたち自身に理解させ、自分でコントロールできる力をつけさせたいと考えている。



大玉中学生徒会が作成した SNS利用5箇条

検診の充実が健康寿命を伸ばす

質問趣旨

住民健診をより受けやすくすることが、健康寿命の延伸にもつながるのではないかと。

【武田】

健康長寿の村づくりには病気の早期発見や早期治療が大切であり、そのためには検診が重要だと思う。大玉村および近隣自治体での乳がん検診の対象年齢と、負担額はどのくらいなのか伺う。

【健康福祉課長】

集団検診と施設検診の対象年齢は、大玉村では40歳以上、本宮市は30歳以上が対象である。二本松市は集団検診が40歳以上、施設検診が19歳以上を対象としている。40歳代の集団検診の負担額は、大玉村と二本松市が800円、本宮市が600円となっており、施設検診では大玉村と二本松市が900円、本宮市が600円である。

【武田】

二本松市などでは胃がんや肺がん検診も19歳から受けることができていくべきではないか。

き、40歳での検診では自己負担が無料となっており、このようなことが検診を受けようと思う動機につながるのではないかと。大玉村でも年齢や自己負担を見直し、より受けやすい住民健診にしていくべきではないか。

【村長】

それが健康長寿につながると思うが、考えを伺う。検診の補助対象年齢や金額には自治体によって違いがあり、それぞれに優劣がある。検診までに時間があるので、あらためて見直しをしていきたい。



病気の早期発見・早期治療で健康寿命の延伸を

社会福祉の充実を願う

質問趣旨

住み良い大玉村をつくるため、子どもや高齢者が必要とする福祉サービスの充実を求める。



放課後児童クラブで宿題をする子どもたち

鈴木 社会福祉の意味とその担い手は誰か。
村長 社会福祉とは、憲法が保障する生存権と幸福追求権を実現する手段や目的であると考えている。社会福祉の担い手は組織でいえば社会福祉法人や行政であるが、ボランティアも担い手、支え手である。全ての方

が社会福祉を理解し支えていて、担い手になっていただきたい。
鈴木 村内に社会福祉法人はいくつあるのか。
住民福祉部長 大玉村社会福祉協議会、陽だまりの里を運営する慈久福祉会、あだたら育成園を運営する牧人会の3事業所がある。

鈴木 大玉村社会福祉協議会に委託している事業にはどのようなものがあるのか。
住民福祉部長 委託事業は、総合福祉センターさくらの管理運営、高齢者の生きがいデイサービス「いきいきさくら」、放課後児童クラブがある。そのほか補助を行っている事業として在宅子育て支援、生活福祉資金の貸付事業がある。さらには各地域にあるサロン活動の支援、各種ボランティア団体の支援、生活困窮者支援など、さまざまな地域福祉活動を実施していただいている。

鈴木 今後、より一層の社会福祉充実のため、大玉村社会福祉協議会の役割について、どのように考えているか。
住民福祉部長 社会福祉協議会は、行政に次いで地域福祉のリーダ的団体であり、村の社会福祉に対して果たす役割は非常に大きいと認識している。



「いきいきさくら」で体力も気力もいきいきと



村の図書充実と整備を願う

質問趣旨

学校司書が子どもたちに本の楽しさを教えることで利用が増えた中、さらなる図書環境の整備が必要ではないか。

須藤

あだたらふるさとホールは村の図書館であるが、2階にはたくさん蔵書が積まれていて、蔵書を整理して、住民が寄贈したいと思えるように工夫して整備できないか。

教育部長

スペースの問題もあるが、書架の拡充など配置を工夫して、利便性の向上に努めていきたい。

須藤

村の図書館として本を整理する、あるいは蔵書を充実させるなどといった方法や方向性はあるのか伺う。

教育部長

大玉に関する史料や多くの方が読む本などの整理の在り方を県

立図書館からアドバイス

いただいた。今後、蔵書の整理や充実を進め、あだたらふるさとホールならではの図書館となるよう検討したい。

須藤

子どもが読書をすることは人間形成にとっても大事だ。読書の推進はどのように図られているのか。

教育部長

読書の習慣をつけるため、ふるさとホール職員やボランティアにより、乳幼児や小学生への本の読み聞かせを行っている。ニーズを調査し、予算を有効に使用しながら、読書の推進を重点に掲げて進めていきたい。



積まれたままのふるさとホール2階の蔵書

採石場跡地および産業廃棄物の現状は

質問趣旨

平成25年12月、27年6月の議会でも質した。現状を確認する。

須藤

採石場の埋め戻しの状況を伺う。

住民福祉部長

露天掘りされた場所は埋め戻され、ほぼ平らな状況である。

須藤

採石場跡地には、PCBなど発ガン性物質の含まれる変圧器が貨車に格納されて置かれていたが、現状はどうなっているのか。

住民福祉部長

現在も以前のままと変わらない状況と認識している。

須藤

行政代執行はできなかつたのか。早期撤去についての経過も含めて伺う。

住民福祉部長

当該法人が活動中であることから行政代執行はできないが、業者の事業計画では北海道の処理施設に搬入予約済みと聞いている。



PCBが保管されている採石場跡地のコンテナ

PCBの処理に関する補助も企業が行うものであり、村が申請することはできない。処理に関しては県が指導権限を有しているの、県にも働きかけている。

須藤

採石場の埋め戻しの完了や変圧器の撤去を一刻も早く行うことに対し、村長の考えを伺う。

須藤

採石場の埋め戻しは県の指導権限であるため、県に対し強く業者を指導してもらうよう求めていく。

村長

埋め戻し完了の前にPCBの片づけをきっちり進めてもらう考えである。また、北海道への搬入の予約を確認している。PCBの処理は県の指導権限であるため、県に対し強く業者を指導してもらうよう求めていく。

大王村の魅力をさらに発信するには

質問趣旨

村内外の皆さんに村の魅力を知ってもらうためには、情報を発信する「人」が必要だと考える。



ウェブサイトに掲載した地域おこし協力隊の募集



佐原佐百合 議員

佐原 村の情報発信をしてももらうための「地域おこし協力隊」を昨年から募集しているが、応募がない要因は。

総務部長 全国的に地域おこし協力隊の需要が多く、協力隊に就く方が限られている。

佐原 次年度も募集するの。

総務部長 「日本仕事百貨」のウェブサイト地域おこし協力隊の募集の掲載を進めている。引き続き募集していく。

佐原 地域おこし協力隊ではなく、会計年度任用職員の雇用は考えられないか。

村長 地域おこし協力隊は国の補助など制度面で有利なため、活用していきたいと考えている。情報の発信は重要であり、地域おこし協力隊が見つからない場合は会計年度任用職員の採用も検討していきたい。

佐原 情報を発信する村民ボランティアなどの仕組みは考えられないか。

村長 村民の方の協力には非常に大切だと感じている。地域おこし協力隊が任命できれば、住民プロガーの育成やSNS発信のための研修を考えている。指導できる人材の確保を進めていきたい。

SDGs推進の村づくりのために

質問趣旨

SDGs※を村民の皆さんと共に推進することにより良い村づくりができると考える。

佐原 村がSDGsに取り組み意義を伺う。

総務部長 SDGsは全世界的な取り組みである。2030年までに全ての国、自治体、住民が未来をよくするため取り組みなければならぬ重要な目標であると考えている。

佐原 村民の皆さんがSDGsを理解する機会はあるか伺う。

村長 昨年から役場職員がSDGsを理解するための研修会を行っている。第五次大王村総合振興計画をつくる段階で、村民の皆さんにSDGsの考え方を伝えていきたい。

教育長 職員による説明や講師を紹介するなど、広く村民の皆さんにご理解いただく機会を提供したい。

佐原 本村は「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の会員登録をしているが、その活動内容は。

総務部長 総会と分科会の開催がある。分科会では事業者が専門的提案をして、賛同する企業、事業所、自治体などが所属し話合っている。現在38の分科会があるが、大王村は参加していない。

※SDGs
2015年に国連で採択された国際社会が共通して達成すべき17の目標。



大王村の未来を提案する中学生（2月1日）



種子法廃止の影響は

質問趣旨

種子法の廃止により、蓄積してきた育種の知見を無差別に民間に提供できるようになった。日本の種子をどう守るのか。

菊地

村には原種や原種などの種子を栽培する農家は存在するか。

産業建設部長

現在、原種栽培などを委託されている生産農家はない。

菊地

輸入の飼料用米はほとんどが遺伝子組み換えで栽培されている。近年は休耕田に飼料米を栽培するようになってきたが、何の品種を栽培しているのか伺う。

産業建設部長

村内で飼料用米を栽培する農家は5軒である。品種は2軒が県奨励品種のふくひびき、3軒がコシヒカリであり、いずれも固定種である。

菊地

日本ではF1※品種の野菜が多く栽培されている。在来種を守るという観点から村長の考えを伺う。

村長

F1の野菜が主流になっており、食味の良さや収量の多さなどが消費者に喜ばれる場合が多い。固定種は京野菜などのように、種を自家採取し作付ができる。それぞれ

の良さを利用するのが現実的である。

菊地

種子法廃止を受け、各道府県では在来種子を守る条例を制定しはじめている。全国状況と福島県での実情はどうか伺う。

産業建設部長

現在までに10の道府県で条例を制定し、4県で制定に向けた動きがある。種子法の廃止に伴い、国が各道府県で対応するよう示したことから、福島県は

主要農産物種子取扱基本要綱を定め、原種の生産などを行っている。要綱があるため県では種子条例を制定する動きはない。

※F1

異なる2つ以上の品種を組み合わせ、良質な雑種の第一代目のみを品種としたもの。



高い技術で守るべき原種

菊地

米などの遺伝子組み換えの種子が栽培されているが、村の考えを伺う。

産業建設部長

遺伝子組み換え作物は、害虫への抵抗性や除草剤への耐性という点で優れたメリットがあるといわれている。一方で、健康や環境への懸念があることも事実である。

食品や飼料の安全性確保は「食品衛生法」、「食品安全基本法」、「飼料安全法」により、科学的に



自家採取で守られてきた在来種

評価を行い、問題のないもののみ栽培や流通ができる仕組みになっている。現在はこれらの研究が進んでいると認識しており、健康や環境への悪影響といった懸念は、村としては持ち合わせていない。

目指せ!! 健康長寿日本一おおたま

「健康長寿」について考えること、実践していることを「大玉村商工会女性部」の役員さんに伺いました。



安田ひさこさん 中條弥朱さん 押山広美さん

皆さんにとって「健康」「元氣」の秘訣は?

中條さん ガーデニングや家庭菜園です。草むしりをした時は、普段使わない筋肉を使うので、太腿の後ろが痛くなります。イノシシに畑を荒らされてがっかりする事もありますが、自分で育てた野菜はおいしいのでめげずに頑張っています。(笑)

押山さん ボウリングです。最高得点は268点。県北商

工会女性部のボウリング大会で勝ちたくて練習しています。腕を振るせいか、肩こりはありませんよ。

安田さん 朝晩犬の散歩をしています。30分程度ですが、天気が悪くても行きます。女性部の講習会で教えてもらった腕振りや大腿で歩くことをたま〜に意識して歩いています。

健康といえば「食」も大事ですが、こだわりは?

中條さん 家族にはいつまでも元気でいてほしいので、どんな献立にするかいつも考えています。家族が元気でいてくれるから、私も元気で仕事や自分のやりたいことができるんですよ。

押山さん 自分一人だと料理はしないかな。家族と一緒にいるから料理のしがいがあります。今はホームベーカリーや圧力鍋を使って、おいしさと安さを追求しています。

安田さん 家族には元気でいてもらわないとね。特におじいちゃんはお肉が大好きなので、肉料理を作ります。元気に田んぼや畑仕事をしてもらっています。

「社会参加」は健康長寿の三本柱の一つですが、皆さんにとって商工会女性部とは?



中條さん セツけんづくりなど、さまざまな活動を行っています。どの活動も事前の準備が大切ですね。皆さんから元気をいただき、自分も元気であることができます。

押山さん 女性部の団結力がすごいです。声をかけると皆さん出てきてくれます。作業をしながらの話にも花が咲き楽しいです。

安田さん 女性部の活動を家族も応援してくれます。活動の後のおしゃべりや食事は最高の息抜きですね。

大玉村商工会女性部

商工会会員事業所の女性経営者や配偶者・女性親族で構成し、部員は27名です。会員の親睦を深め互いの経営の悩みを共有する活動や廃油とEM活性液を活用した「EMせっけん」の製造販売、EM活性液を使った水質浄化などの環境改善活動に力を入れています。最近では空き店舗の利活用を進める活動などにもチャレンジしています。

編集後記

鮮やかな新緑が目に見える季節となりました。春は新入学、新社会人と希望に満ちあふれる季節ですが、今年は新型コロナウイルスの影響が及ぼし、不安の入り交じった春になってしまいました。治療薬などの一刻も早い開発とウイルスの早期終息を祈るばかりです。

ウイルスから身を守るには手洗いやアルコール消毒が基本ですが、もう一つ重要なのは食事による免疫力アップです。一人一人が身の回りを見つめ直し、一日一日をできるだけ穏やかに楽しく過ごして健康長寿を目指しましょう。(渡邊 啓子)

議会広報編集特別委員会

委員長 ● 佐原 百合
副委員長 ● 佐藤 信一
委員 ● 渡邊 啓子
委員 ● 菊地 厚徳
委員 ● 武田 悦子
委員 ● 押山 義則



玉井小プールの水質浄化活動(10月30日)